

ことばの教室だより

令和3年6月
入間川東小学校
ことばの教室
Tel 04-2952-3118



ことばの教室って、どんなところ？

ことばの教室は、言葉や聞こえに関する一人一人の課題を改善・軽減し、学級でよりよい生活や学習ができるよう援助するところです。担任の先生方や保護者の方と協力して、児童のよりよい成長を図っていききたいと考えています。



(令和元年度 難聴・吃音グループ学習にて「難聴理解力ルタ」の様子)

こんな子はいませんか？



てんてい、だっとうは、
たのちいよ。

<発音の誤り>

年齢に比べて幼い発音が残っていたり、聞きづらい癖のある発音がまじったりする。

えっ、えっ？
なんていったのかな。

<難聴>

聞き返しや聞き間違いが多い。言葉の数が少なかったり、発音が誤っていたりする。



<吃音>

言葉がなかなか出なかったり、はじめの音を繰り返したり、伸ばしたりする。



・・・はい、
げーげーんきです。

ご連絡ください

担任の先生が言葉や聞こえの課題に対して気づき、早期の対応をとることで良い効果を生むことができます。気になることがありましたら、ぜひご相談ください。また、保護者の方から、「ことばの教室」へ直接電話をいただく方法でも、相談を受け付けています。

ことばの教室通級児童の実態

(令和3年6月現在)

<障害種別・学年別人数>

主障害でカウントし、他の障害種と重複は(外数)

| 障害種別/学年 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計 |
|-----------|------|----|------|-------|----|----|-------|
| 構音(発音の誤り) | 1(1) | 5 | 3(1) | 5 | 0 | 1 | 15(2) |
| 吃音 | 0 | 1 | 1 | 4 | 1 | 1 | 8 |
| 難聴 | 1 | 0 | 2 | 1(1) | 0 | 0 | 4(1) |
| 計 | 2(1) | 6 | 6(1) | 10(1) | 1 | 2 | 27(3) |

*令和2年度通級児童数は総計38名でした。

裏面もあります

【難聴理解啓発授業】

5月7日（金）に入間川東小の6年生に向けて難聴理解啓発授業を行いました。



総合的な学習の時間「わたしたちのバリアフリー」より、聞こえにくいこと（聴覚障害）について知り、私たちにできることを考えてもらいました。イヤードیفENDERを付けて聞こえにくいことを体験したり、イヤードیفENDERを付けた友だちに話を工夫して伝えたりしてもらいました。また、聞こえにくい人は生活の中でどんなことに困るのか、どんな気持ちになるのかという声を取り入れたカルタ（難聴理解カルタ）や動画を紹介しました。授業を通して、聞こえにくい人には、「顔を向けて」「ゆっくり」「はっきり」「大きな声」「身振り」等が大切ということがよくわかり、自分たちはどんなことができるのかよく考えることができたようです。

8日（土）には柏原小の4年生にも難聴理解啓発授業を行いました。ことばの教室に通っているお友達が、音や自分の聞こえ、気持ちについてまとめたことを発表してくれました。イヤードیفENDERをつけての体験やわかりやすい発表で、聞こえにくいとはどんなことなのか知ることができたようです。



《児童の振り返りより》

（入間川東小6年生）

- ゆっくり大きな声や口もとが見えるように顔を向けてはっきり会話すれば、聴覚障害の人も相手が何を話しているかがわかりやすくなることに気づくことができました。
- 困っていたら声をかけて助けたり、少ししかできない手話や指文字を覚えてできるようにしたり、できることがたくさんあるので、まずは自分ができることからやってみよう。
- 聞こえにくい人は、少しの物音や話し声が混じると、大事な事を聞き逃してしまう事をイヤードیفENDERを付けて実感しました。
- イヤードیفENDERをつけたとき、周りが話しているがよく聞き取れず、「少しこわいな」という気持ちになりました。聞こえにくい人もこのような思いをしているのかなと思いました。
- 友達に伝える時、ジェスチャーをしたり、1つのことを話して次の話に行く前に「OK?」と聞いたり工夫をしました。
- 聞こえにくい人は、見た目ではわかりづらいので、気付かれにくいということがわかりました。
- 聞こえにくい人は見ただけではわからないから、缶バッジやスタンプ等を作ったら良いと思う。
- 手話や筆談をして、聞こえにくい人は会話をしていることがわかりました。図書館の本を借りる所にも、「耳が聞こえにくい方は『筆談』をするので、お申しつけください。」と書かれた小さな看板が置いてあったり、筆談ボードがあったりしました。
- 町の中に、文字で質問したり、答えてもらったりするパネルなどがあるといいなと思いました。

（柏原小4年生）

- 音の単位、デシベルを知りました。イヤードیفENDERをつけて、聞こえにくいことをみんなと体験し、友達のことや、耳の聞こえにくさのくわしいことがよくわかってよかったです。ほちょうきをつければ、よく聞こえると考えていたので、他の音がすると聞こえにくいということを知ることができてよかったです。
- 聞こえにくい体験をして、聞こえにくい人の気持ちがわかりました。顔を見て、身ぶり、ゆっくり大きな声で伝えます
- 人それぞれちがうので、いっしょになかよくしたり、あそんだり、べん強していくことがすごく大切なんだと思いました。

